

週間展望 (7/18～7/24)

～ WEEKLY FORECAST ～

調査課

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

目次 (2022/7/18号)

■ 目次	・・・ P 2
■ 週間予定：日欧金融政策決定会合・パイプライン再開の行方が注目	・・・ P 3
■ 前週Review：ユーロ・ドル等価（パリティ）割れ	・・・ P 4
■ ドル円：ECB理事会と日銀金融政策決定会合が注目	・・・ P 5
■ 金：ここからの下値は限定的か？	・・・ P 6
■ 白金：NY白金の800ドル割れ水準は、底値圏	・・・ P 7
■ ゴム：中国の追加経済対策	・・・ P 8
■ 穀物：ウクライナ穀物輸出再開動向に注目	・・・ P 9
■ 原油：200日移動平均線で下支えられる	・・・ P 10
□ 騰落率（年間・月間・週間）	・・・ P 11
□ 米CPI	・・・ P 11
□ ETF（金・白金）・EIA原油在庫	・・・ P 12
□ USDA生育進捗率・USDA作柄	・・・ P 13
□ 週間輸出成約高・期末在庫率	・・・ P 13
□ CFTC建玉明細- （ドル円・ユーロドル・NY金・NY白金） （NY原油・NYガソリン・シカゴ大豆・シカゴコーン）	・・・ P 14～15

CX週間展望（7月18日～）

【週間スケジュール(7月18日～7月24日)】

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1 日 日銀短観 中 財新製造業PMI 米 製造業PMI 米 ISM製造業景気指数	2
3 米 休場（独立記念日） ユ ユーロ圏生産者物価指数（PPI）	4 中 財新サービスPMI 米 耐久財受注	5 米 サービス業PMI 米 総合PMI 米 ISM非製造業景気指数	6 米 FOMC議事要旨 米 ADP雇用指数 米 貿易収支	7 日 国際収支－経常収支 日 国際収支－貿易収支 米 雇用統計	8 中 生産者物価指数（PPI） 中 消費者物価指数（CPI）	9
10 日 参院選挙	11 日 機械受注	12 日 国内企業物価 独 ZEW景況感指数 イ エレン米財務長官来日（～13日）	13 中 貿易収支 英 月次GDP 独 消費者物価指数（CPI・HICP） 英 鉱工業生産 米 消費者物価指数（CPI） バイデン大統領中東歴訪（～16日） 米 ペーシュブック	14 日 設備稼働率 日 鉱工業生産 米 生産者物価指数（PPI） 満月	15 中 鉱工業生産 中 実質GDP・小売売上高 米 小売売上高 米 NY連銀製造業景気指数 米 ミシガン大学消費者信頼感指数速報値 バイデン大統領サウジ訪問（～16日） G20財務相・中央総裁銀行会議（～16日）	16
17	18	19 米 対米証券投資 米 住宅着工件数 米 建設許可件数 ロシア・イラン・トルコ首脳会議	20 英 消費者物価指数（CPI） 米 中古住宅販売件数 日 日銀金融政策決定会合（～21日）	21 日 政策金利・黒田総裁会見 ユ ECB政策金利 米 フィラデルフィア連銀景況指数 露 バイプライン定修終了予定	22 日 全国消費者物価指数 米 製造業PMI 米 サービス業PMI 米 総合PMI	23
24	25 独 Ifo景況感指数	26 米 S&Pケースシラー住宅価格 米 CB消費者信頼感指数 米 新築住宅販売件数 米 FOMC（～27日）	27 米 卸売在庫 米 耐久財受注 米 中古住宅販売成約数 米 FRB政策金利	28 ユ ユーロ圏景況感指数 米 実質GDP	29 ユ ユーロ圏GDP 米 雇用コスト指数 米 PCEデフレーター 米 ミシガン大学消費者信頼感指数速報値 新月	30
31 中 製造業PMI						

今週の注目は、ECB理事会・日銀金融政策決定会合。ECBは0.25%の利上げ、日銀は政策変更なしが市場コンセンサス。

21日にパイプラインの定期修理が完了するが、ロシアの国営エネルギー企業ガスプロムが、契約先の欧州の複数企業に対し「不可抗力により供給を保証できない」と通告と報じられている。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

前週レビュー・トピックス

~ユーロ・ドル等価(パリティ)割れ~

調査課

菊川 弘之



【欧州売り】

ユーロは対ドルで大幅に反落し、2002年12月以来、20年ぶりに1ユーロ=1ドルの等価(パリティ)割れとなった。ECB理事会では、インフレ抑制を視野に0.25%利上げが予想されるが、南欧諸国への経済的打撃も考慮せねばならず、米国ほどの積極的な引き締めは困難な状況であることが欧州通貨売りの背景。

パイプライン再開
動向が焦点

ロシアからドイツに天然ガスを輸送するパイプラインが定期検査で停止し、**検査終了後も操業しない可能性**が嫌気されている。ロシア産天然ガスをドイツに送るパイプライン「ノルドストリーム」が11日、保守作業のため供給を停止した。ノルドストリームを運営する露政府系ガスプロムは「**作業は21日まで**」と通告。

ガスプロムは先月、ノルドストリームの設備改修を理由に、ガス輸出の6割削減を発表したばかりで、ハンガリー政府は13日、**エネルギー危機を要因とする「危険事態」を宣言**した。ガスプロムは既にポーランド、ブルガリア、フィンランド、デンマーク、ドイツ、オランダの欧州6カ国向けの天然ガスを少なくとも200億立方メートル削減。プーチン大統領が3月に要求したルールでの支払いに応じなかったことが理由。

ロシアからドイツに向けてはノルドストリームのほか2本のパイプラインがあり、このうちポーランド経由は5月に停止している。**ドイツはパイプラインを通じた露産ガスに長年依存し、国内に液化天然ガス(LNG)のターミナル施設がないため、供給元が多極化が難航**している。

また、ジョンソン英首相の辞任表明を受けて、**英政治の不透明感**も浮上し、ポンド売り・ドル買いも進んでいる。

更に、イタリア議会がドラギ内閣の信任投票を実施し可決したが、連立与党のうち主要な左派「五つ星運動」が投票をボイコットした。ドラギ氏はかねて、「五つ星運動」の支持が得られなければ辞任する意向を表明していた。

ロシアによるウクライナ侵攻に対して、欧米は制裁に動いたが、**経済ダメージは報復制裁を受けた欧州の方が大きい**。欧州のロシア依存も容易には変えられない。

メルケル退陣以降、経済政治面でユーロを支えてきた**ドイツの求心力が急速に低下**している。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

ドル円 (YEN)

～ECB理事会と日銀金融政策決定会合が注目～

調査課

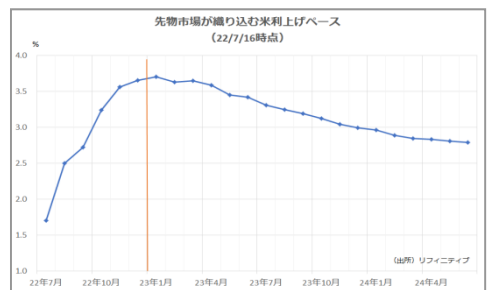
菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

松野博一官房長官が「急速な円安動向見られ憂慮している」「為替、一層の緊張感を持って注視」との口先牽制を行ったが、調整安局面では、押し目買い意欲強く、円売りドル買いが加速した。

6月の**米CPIが40年超ぶりの大幅な伸び**となった事に加え(P11下段チャート)、日米財務相会談で声明は出たものの、イエレン財務長官が会談後、為替介入について「まれで例外的な状況でしか**正当化されない**」と発言した事で、今月のFOMCと日銀金融政策決定会合で、更に**金融政策の違いが明確になる**と思惑が投機筋に材料視された感触だ。ロシアによる報復制裁で、ユーロ売り・ドル買いが進んでいることも円安ドル高の一因。



ドル円は、チャート上の節目147.57円(98/8月高値)以外には、一目均衡表からは、V=139.74円、N=140.74円、E=144.88円などが上値目標が算出できる。過去のドル円・年間値幅が大きく動いた年から逆算すると、147.27円(98年値幅)、149.74円(90年値幅)などがカウントできるものの、**RSIは逆行現象**で切り下がっており(上図チャート)、**米金利も頭打ち**となっている(右上図チャート)。

今週は、**ECB理事会と日銀金融政策決定会合**。21日にはロシアと欧州を結ぶパイプライン定期修理の終了時期が控える。ECBは0.25%の利上げ、日銀は政策変更なしが市場コンセンサス。ウクライナ産穀物輸出の合意や、リトアニア外務省がロシア本国から飛び地カリーニングラードへの鉄道による貨物輸送について、一定規模を認め始めており、**停戦観測の高まり**が出てくれば材料視されるかもしれない。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

金 (GOLD)

～ここからの下値は限定的か？～

調査課

菊川 弘之

【今週見通し・戦略】



NY金(8月限)は、6月の米消費者物価指数(CPI)に続き、米卸売物価指数(PPI)も事前予想比上振れとなり、米連邦準備理事会(FRB)の大幅利上げ見通しに加え、欧州連合(EU)が経済成長予測を下方修正したことや、イタリアの政局不安を受けて**ユーロドルがパリティ割れで下げが加速**したことを嫌気した。

2021年8月以来、11ヶ月ぶりに1700ドルを下回ったが、終値ベースでは維持して週を終えた。RSIは短期的な売られ過ぎ感を示唆している。(右上図チャート参照)。

7月のFOMCでの利上げ幅予測は0.75%幅から1%幅に切り上がっているが、先物市場が織り込む米利上げペースは、来年は利下げを見込んでいる。急速かつ大幅な利上げが、景気後退を招くと見ている格好だ。



21日に予定されている欧州とロシアを結ぶ「ノルドストリーム」の定期修理が予定通り終了するか否かも目先の焦点。

仮に、ロシアが老朽化や修繕を理由に**パイプライン停止を延期するなら、もう一段のユーロ安に追従となる可能性**も想定しておきたい。ただし、ユーロは既にパリティ割れで売られ過ぎ感もあり、下値は限定的か？原油高・株安で反応しそうで、金は一旦売られた後で、**V字型反騰**もありそうだ。

反対に、予定通りパイプライン再開なら、ユーロ高で反応し、金相場は**1700ドル水準での値固め**に移行するか？

7月FOMC迄は、金の下値リスクはあるものの、ここからの下値は限定的か？内外共に心理的節目(NY金:1700ドル・JPX金7500円)割れからの**テクニカル的な下げ加速場面があれば、チャート上の底打ち確認後、中長期的な買い場探し**とした

チャート上の底打ち確認後、買い場探し

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

白金(Platinum)

～NY白金の800ドル割れ水準は、底値圏～

調査課

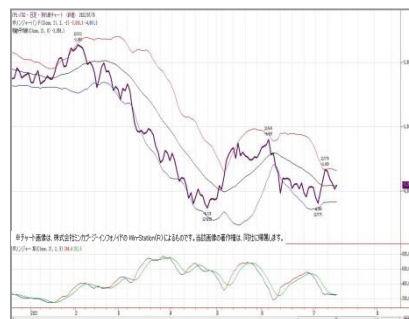
菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

「白金一金」の鞘は、「金売り・白金買い」が手仕舞われ、**ボリンジャーバンドは保合い放れ待ちに移行**している。%Bのクロスを伴って放れれば、順張り型の動きとなる。(右図チャート)。

ロシアが欧州への天然ガスパイプラインの供給量を60%減らしたことで、ロシア生産シェアの高いパラジウム高に白金は追随したが、**自動車生産が落ち込むとの観測から上値が抑えられた**。



自動車生産縮小

トヨタ自動車は、米テキサス州サンアントニオの**組立工場の生産を縮小**すると発表。連日の猛暑の影響で、テキサス州の電力供給が圧迫されていることが背景。8月中旬にかけ、ほぼ毎日午後2時までの生産を停止するほか、夜間シフトを短縮する。一方、米ゼネラル・モーターズ(GM)は、テキサス州アーリントン組立工場での減産は回避したものの、空調の使用は制限しているとした。

欧州自動車工業会(ACEA)が15日発表した6月の新車販売台数は前年同月比16.8%減の106万6000台と、**1996年以来の低水準を記録**した。減少は12カ月連続。

また、16日はこれまでに全国で11万675人の感染が発表。これまで最も多かった今年2月5日の10万4169人を超えて最多。再び行動制限が加わるようなら、株売りが白金売りの材料となる可能性には注意したい。感染者拡大動向に注意。

NY白金は、支持線だった900ドルを維持できず、800ドルを試す流れだが、過去、**NY白金の800ドル割れ水準は、底値圏**として買い拾われており、同水準への下落があった場合は、結果として中期的な買い場を提供することになると見る。7月のNY白金の月間騰落率は、買い優勢な時間帯(32戦19勝13敗)。

今夏の鉱山会社の賃金交渉の行方も注意。鉱山ストライキとなれば供給不安が支援要因になる可能性も出てくる。大手労組である**南ア全国鉱山労働者組合(NUM)**と**南ア鉱山建設労働組合(AMCU)**の動向に注意。

ゴム (RSS 3号)

～中国の追加経済対策～

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

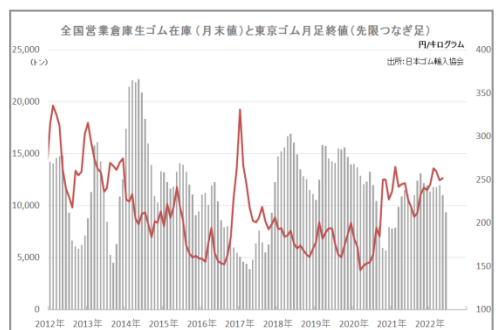
上海ゴムは、心理的節目12,500元を割込むと、週末にかけて下げ加速。一代安値を更新し、JPXゴムも追従した。

米CPIの上昇が加速したことで次回FOMCでの1%利上げ説も台頭し、米景気後退懸念が材料視された。

中国景気減速

米国のリセッション(景気減速) 突入懸念に加え、中国の景気減速懸念も一因。15日に中国国家统计局が発表した2022年4～6月期国内総生産(GDPは)、実質で前年同期比0.4%増となり、1～3月期の4.8%増から失速、**中国政府が2022年の成長率目標としている5.5%の達成は厳しい状況**となっている(右上図)。

中国と米国、世界第1位と第2位の天然ゴム消費国が揃って、景気の減速が確認されており、天然ゴム相場に積極的な買いが入りにくい状況。



全国生ゴム営業倉庫在庫は、6月30日時点9,338トン(前旬比570トン減)。6月下旬の入出庫は入庫515トン、出庫1,085トン。営業倉庫生ゴム在庫(右下図)は減少が継続しており、上海ゴムの底打ちが確認されれば、JPXは「逆ザヤに売りなし」で、輸出世が意識されるか?日本の連休中に中国当局が**不動産市場の危機を回避するための措置**を打ち出している。

バイデン米大統領とサウジアラビアのムハンマド皇太子らとの会談で原油供給について話し合われたが、サウジ政府は「OPECプラス」の枠組みの外での増産には消極的と見られ、米国の要請に応じて増産する可能性は低いとの見方から、ゴムと相関の高い原油は反発している。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

穀物(大豆・コーン)

～ウクライナ穀物輸出再開動向に注目～

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

シカゴ大豆は調整継続。12日発表の米農務省(USDA)需給報告では、生産量が引き下げられたことで期末在庫率は下方修正されたが、6月末に作付面積が発表された時点で生産量の引き下げは想定されていたことから、生産量の下方修正に対する反応は限定的。一方、輸出量、圧砕量が共に大きく引き下げられたことが嫌気された。

農務省需給報告を受けて急落

特に輸出に関しては6500万トンもの大幅引き下げとなっているが、週間輸出成約高報告でも**約36万トンのキャンセルが発生**している。(P13: 輸出成約高参照)。一次産品価格の高騰や景気後退(リセッション)が大豆需要に悪影響していると見られる。

一方、シカゴコーンのUSDA需給報告では、22/23年度の米国産コーンの生産見通しが前月の144億6000万Buから145億0500万Buに引き上げられたことで**期末在庫率は10.1%となり、前月の9.6%から上方修正**となった。

米国産コーンの作柄は、今月10日時点で「良」以上が前週と変わらずの64%。「劣」以下は10%に上昇し、昨年同時期の8%を2ポイント上回っている。8月12日に発表される**農務省需給報告で生産高、期末在庫率が下方修正される可能性**もある。

11日に発表された作柄報告で今年1回目の「ドウ」が発表された。まだ2%で受粉期の初期段階。ドウのステージを順調に乗り切ると、実ができ始め、産地の天候の影響を受けにくくなる。

今年のプロファーマの現地視察の**クロップツアーは8月22日から25日の予定**で実施される予定。この頃にはコーンの生育は最終段階になり、生産見通しが固まってくる。

一方、大豆に関しては、コーンよりも1ヶ月遅れで、8月の天候次第で、生産高が変化してくる。

小麦に関しては、**ウクライナ産輸出交渉が大詰め**になっている。ロシアとウクライナ、トルコ、国連の代表は13日、輸出航路の安全確保などで合意。今週には、4者が協定に署名する見通し。

原油(OIL)

～200日移動平均線で下支えられる～

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

6月の米消費者物価指数(CPI)が前年比+9.1%と、約40年ぶりの高い伸びとなったことから、米利上げ観測が一段と強まった事や、バイデン米大統領のサウジアラビア訪問を控えて、石油輸出国機構(OPEC)の追加増産が意識された事で、原油市場は急落したが、200日移動平均線で下支えられて、週末にかけて下値を切り上げた。**目先の底打ちを暗示する長い下ヒゲ形成。**

米増産要請に サウジ応じず

注目されたバイデン米大統領とサウジアラビアのムハンマド皇太子らとの会談で原油供給について、バイデン大統領が「良い議論ができた」「数週間内にさらなる措置があるものと期待している」と同国の増産への期待を語ったが、サリバン米大統領補佐官が記者団に対し「発表に期待すべきではない。エネルギー供給を保証するための取り組みは「OPECプラス」の枠組みを通してされるだろう」と述べた。**サウジ政府も「OPECプラス」の枠組みの外での増産には消極的**と見られ、米国の要請に応じて増産する可能性は低いとの見方が広がった。

今週は、21日に予定されているロシア-欧州間の**パイプラインが再開されるか否かが焦点**。延期された場合、ユーロ安・株安になる可能性もあり、要注意。

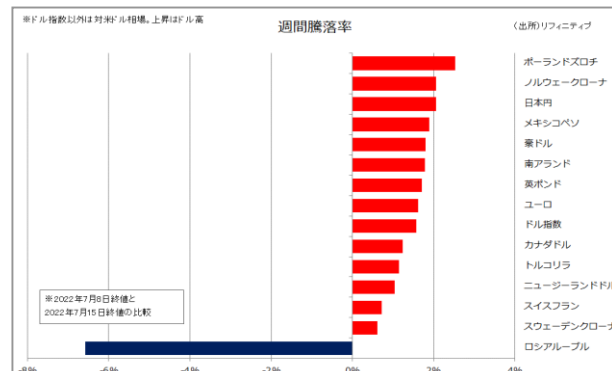
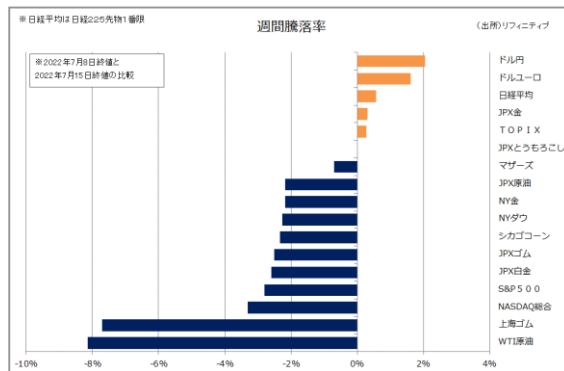
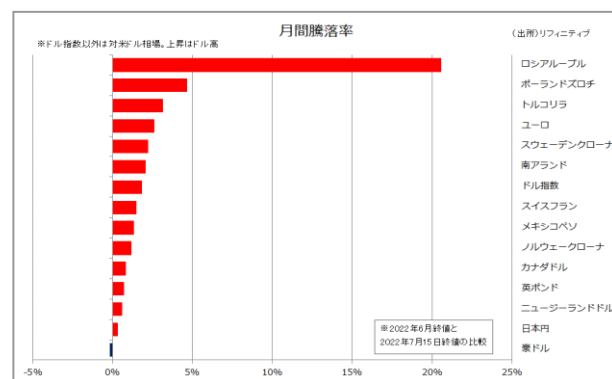
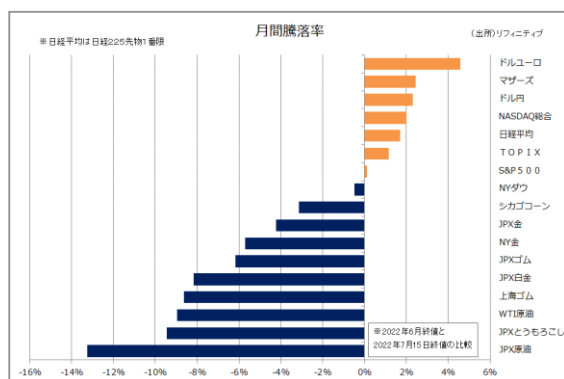
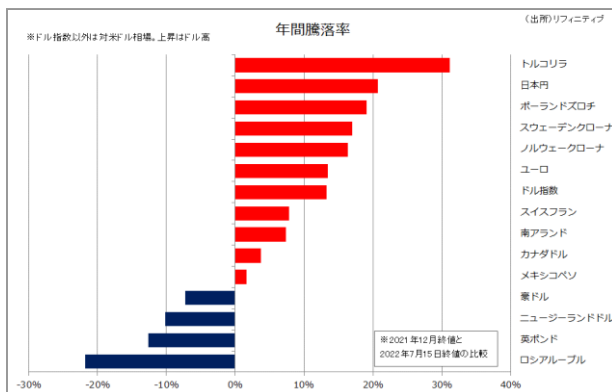
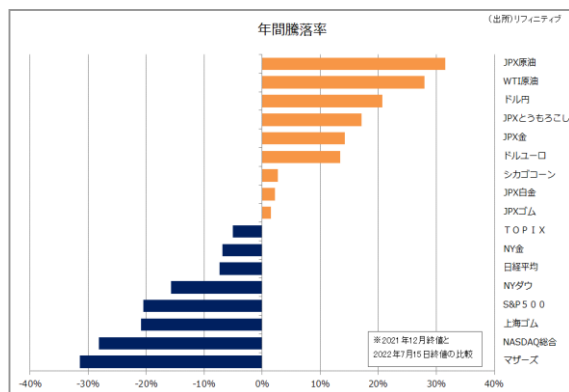
国際エネルギー機関(IEA)月報では、供給が不足する一方でリセッション(景気後退)の可能性もあり、**世界の石油市場は「綱渡り」状態**にあるとの見解を示した。

石油価格の上昇と経済状況の悪化がすでに需要に打撃を与えていると指摘。「石油市場の見通しがこれほど不確かなことはまれだ」と「マクロ経済の見通し悪化と景気後退の懸念が市場心理に重くのしかかっている。供給側にも引き続きリスクがある」と分析した。

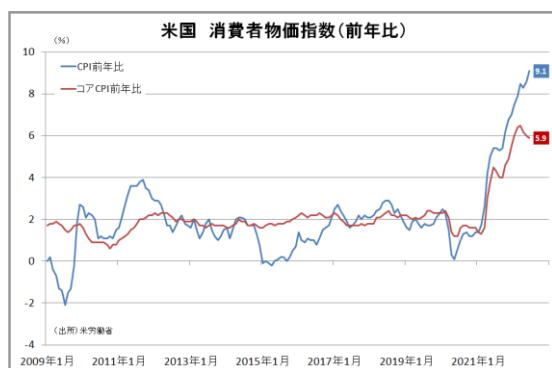
「今のところ**先進国の石油需要の伸びが予想より弱く、ロシアの供給がしっかりしているため**」市場の逼迫感が緩和されたとした。

2022年の需要見通しは日量20万バレル引き下げ170万バレル増とした。23年は途上国が牽引し、日量210万バレル増の日量1億0130万バレルに達すると予想した。サウジアラビアとアラブ首長国連邦(UAE)の増産余力は限られるとし、8月は両国の予備生産能力が合計日量220万バレルへ低下するとの見方を示した。

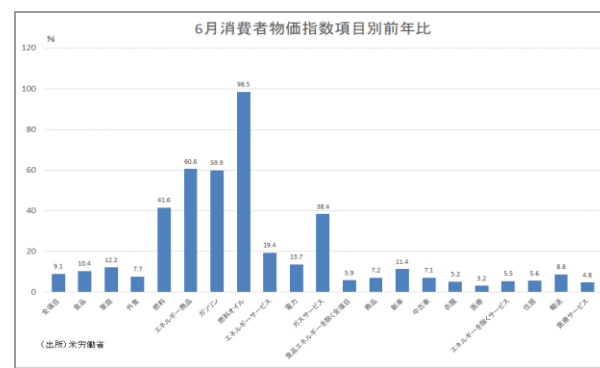
【騰落率(年間・月間・週間)】



【米消費者物価指数(CPI)前年比】



【米消費者物価指数(CPI)項目別】

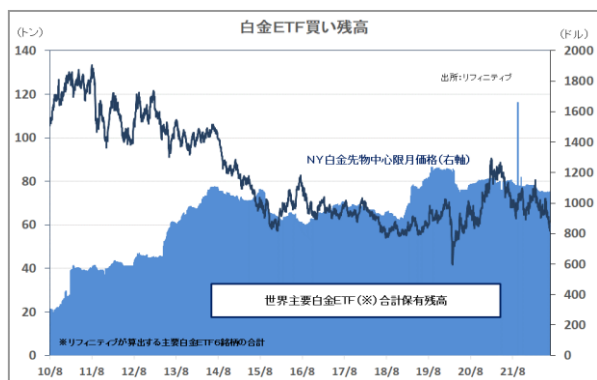


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【金・白金ETF】

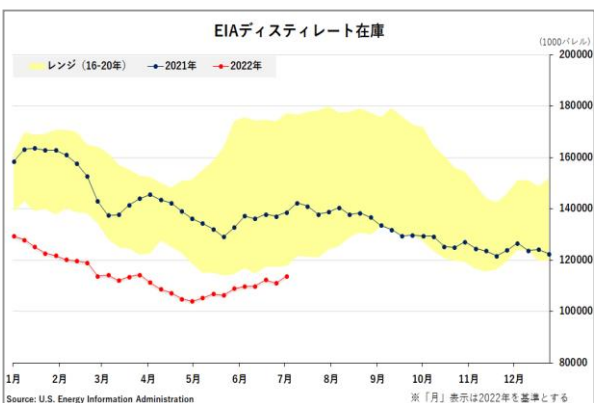
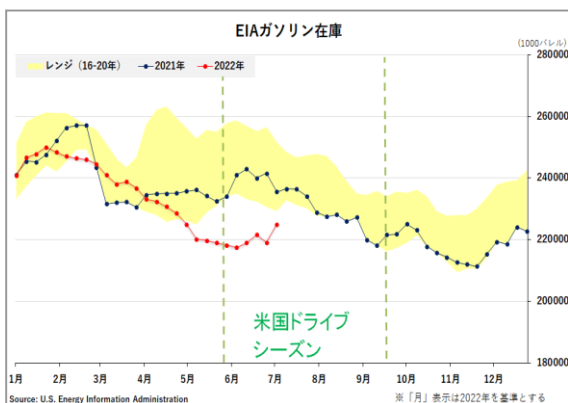
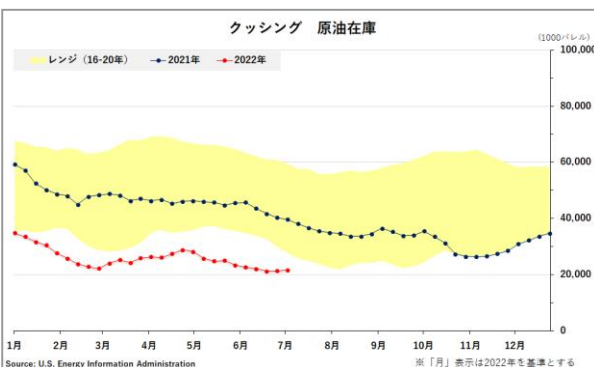
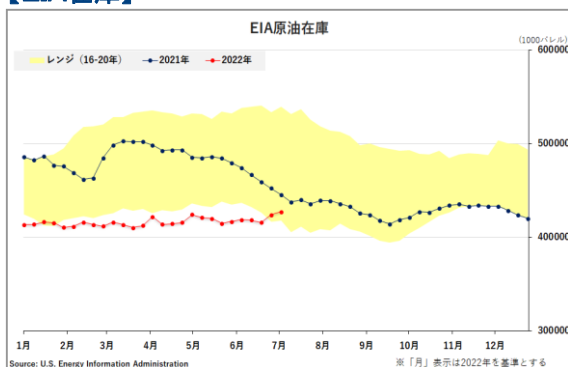


日付	金保有高(トン)	前営業日比
2022/7/18	1009.06	-5.23
2022/7/15	1014.29	-2.60
2022/7/14	1016.89	-2.90
2022/7/13	1019.79	-1.74
2022/7/12	1021.53	-1.74
2022/7/11	1023.27	±0
2022/7/8	1023.27	-1.16



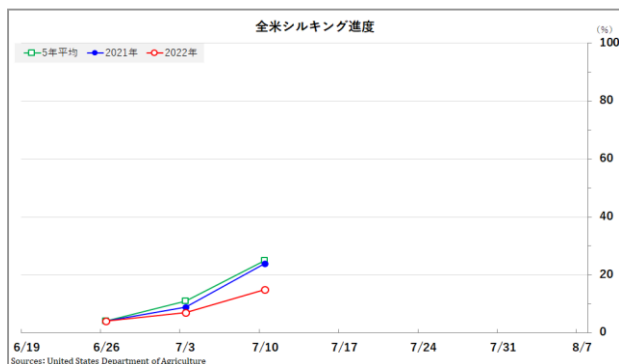
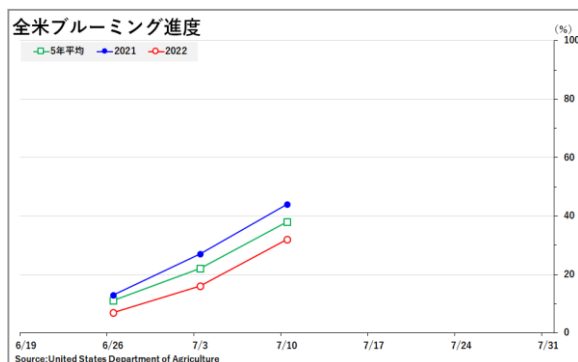
日付	白金保有高(キログラム)	前営業日比
2022/7/18	74,838.66	-33.78
2022/7/15	74,872.44	±0
2022/7/14	74,872.44	-217.41
2022/7/13	75,089.85	-0.16
2022/7/12	75,090.01	-52.41
2022/7/11	75,142.42	+35.02
2022/7/8	75,107.39	±0

【EIA在庫】

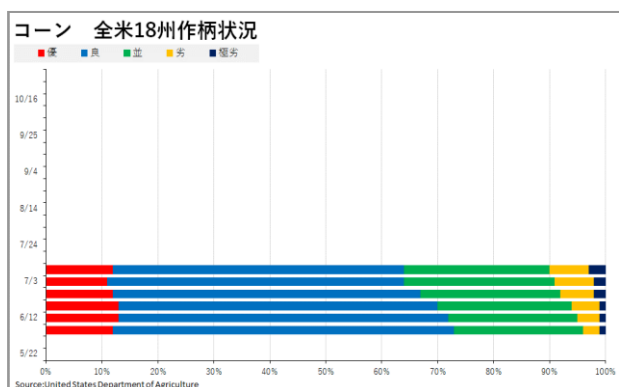
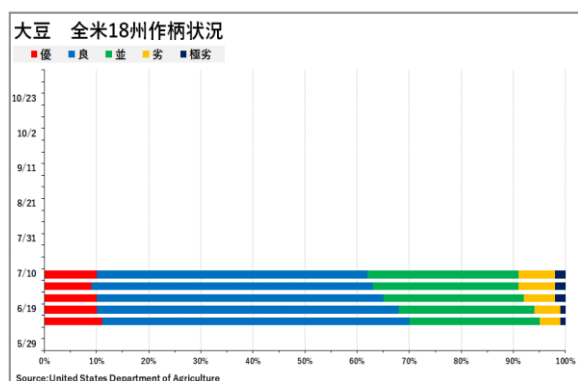


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

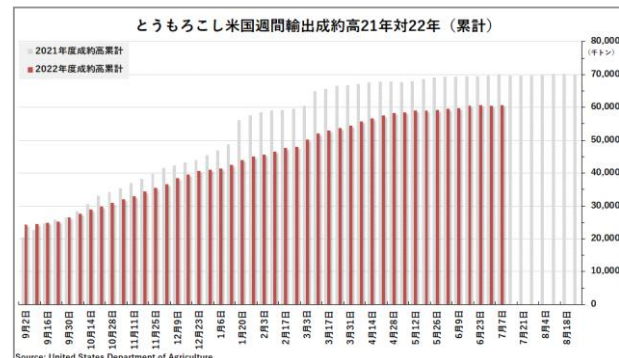
【USDA生育進捗(大豆・コーン)】



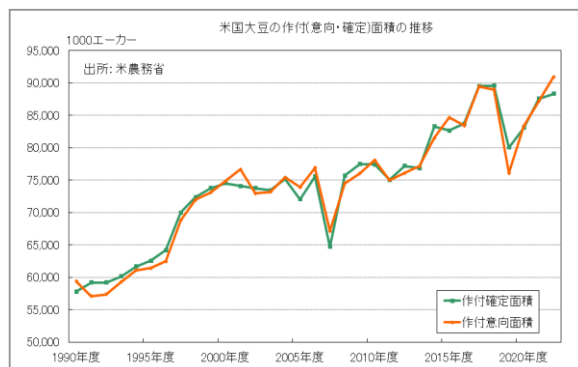
【USDA作柄(大豆・コーン)】



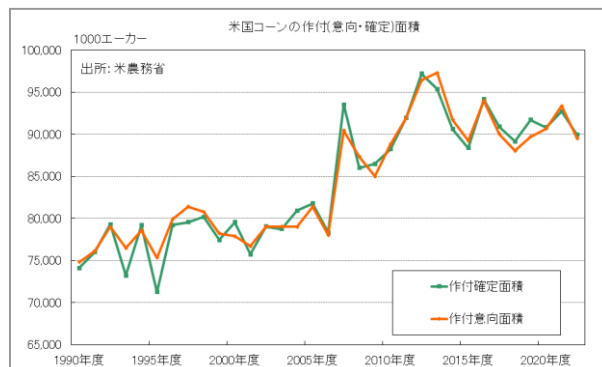
【週間輸出成約高(大豆・コーン)】



【作付け面積(米国産大豆)】

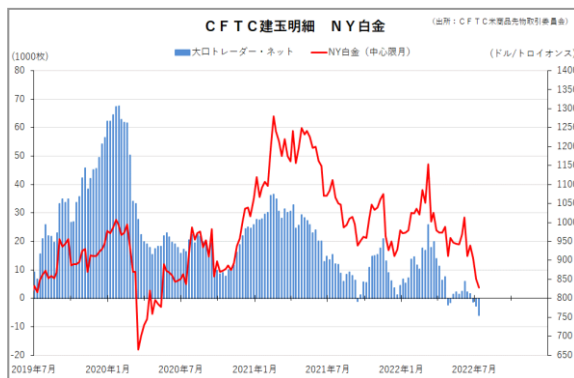
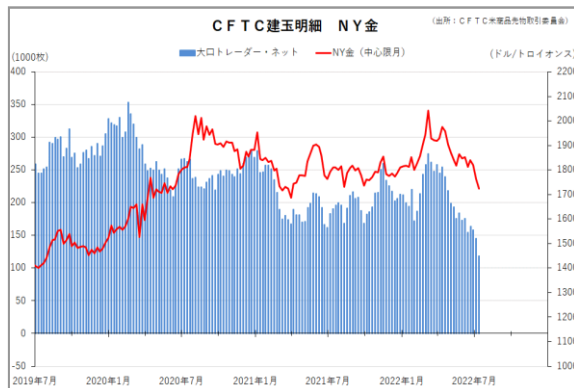
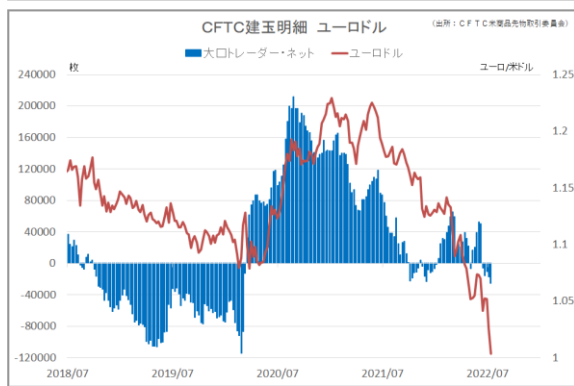
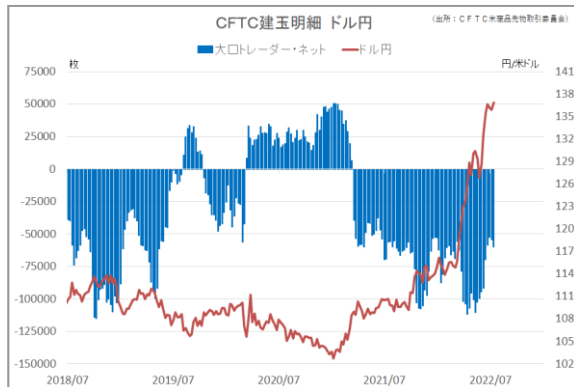


【作付け面積(米国産コーン)】



当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【CFTC建玉明細】



ドル円				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	32,441	102,196	-69,755	135.47
2022/6/21	35,864	94,318	-58,454	136.61
2022/6/28	36,462	89,032	-52,570	136.12
2022/7/5	38,660	93,105	-54,445	135.87
2022/7/12	35,533	95,531	-59,998	136.86
前週比	-3,127	2,426	-5,553	0.99

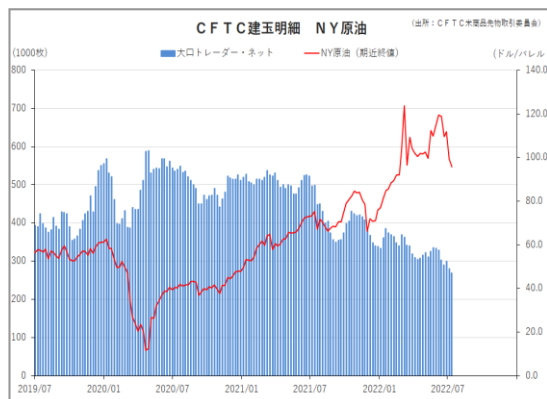
ユーロドル				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	206,986	213,004	-6,018	1.0414
2022/6/21	195,554	211,159	-15,605	1.0525
2022/6/28	189,414	200,010	-10,596	1.0518
2022/7/5	197,138	213,990	-16,852	1.0266
2022/7/12	197,240	222,484	-25,244	1.0036
前週比	102	8,494	-8,392	-0.0230

NY金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	266,596	111,998	154,598	1813.5
2022/6/21	268,119	104,832	163,287	1838.8
2022/6/28	268,712	111,019	157,693	1821.2
2022/7/5	267,806	122,146	145,660	1763.9
2022/7/12	251,126	133,005	118,121	1724.8
前週比	-16,680	10,859	-27,539	-39.1

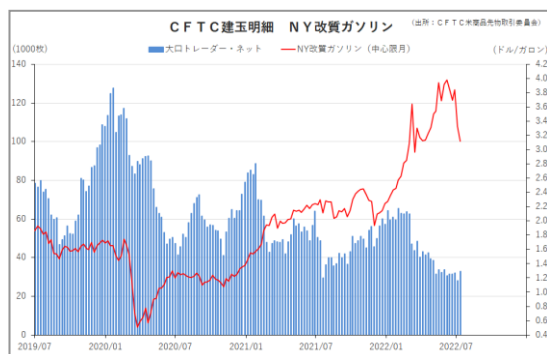
NY白金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	25,085	22,871	2,214	910.7
2022/6/21	25,676	24,185	1,491	939.5
2022/6/28	28,451	29,757	-1,306	905.6
2022/7/5	31,920	34,654	-2,734	850.7
2022/7/12	32,580	38,491	-5,911	828.1
前週比	660	3,837	-3,177	-22.6

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期しておりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

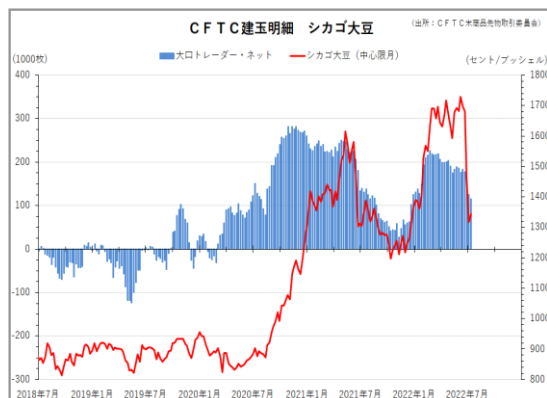
【CFTC建玉明細】



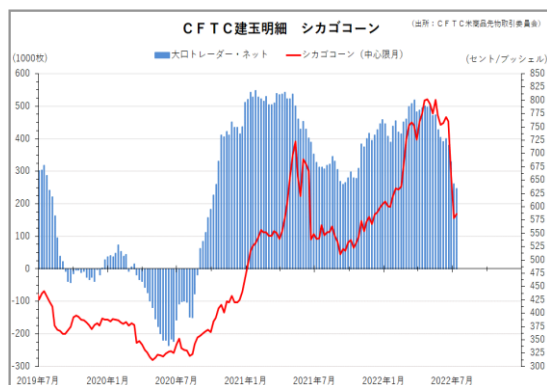
NY原油				
日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	409,427	106,481	302,946	118.93
2022/6/21	388,496	98,994	289,502	109.52
2022/6/28	396,046	96,354	299,692	111.76
2022/7/5	394,943	114,420	280,523	99.5
2022/7/12	375,155	106,827	268,328	95.84
前週比	-19,788	-7,593	-12,195	-3.66



NY改質ガソリン				
日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	76,744	45,288	31,456	3.8419
2022/6/21	75,835	44,428	31,407	3.6953
2022/6/28	76,657	44,558	32,099	3.8442
2022/7/5	72,955	44,934	28,021	3.329
2022/7/12	69,876	37,134	32,742	3.1185
前週比	-3,079	-7,800	4,721	-0.2105



シカゴ大豆				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	229,930	47,263	182,667	1698.50
2022/6/21	226,191	47,812	178,379	1681.00
2022/6/28	191,380	54,187	137,193	1462.50
2022/7/5	190,571	65,080	125,491	1316.00
2022/7/12	171,610	56,491	115,119	1343.00
前週比	-18,961	-8,589	-10,372	27.00



シカゴコーン				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2022/6/14	519,685	119,910	399,775	768.25
2022/6/21	504,174	124,005	380,169	760.75
2022/6/28	433,710	105,608	328,102	659.25
2022/7/5	395,713	135,008	260,705	578.50
2022/7/12	384,324	137,168	247,156	586.50
前週比	-11,389	2,160	-13,549	8.00

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【留意事項】

当社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動により損失を生じる恐れがあります。商品や取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等を十分にご確認ください。

＜商号等＞ 日産証券株式会社（〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-11）
関東財務局長（金商）第131号 金融商品取引業者 商品先物取引業者
＜加入協会＞ 日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般財団法人金融先物取引業協会

当資料は情報提供を目的としており、当社取扱商品に係る売買を勧誘するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。